

やまがた 金融広報だより

2022.3

「山形県金融広報委員会とは？」

おかねについての情報を、もっとくらしに役立ててほしい。そのために必要な情報をわかりやすく届けたい。そんな思いで活動しています。



金融・経済講演会を開催しました

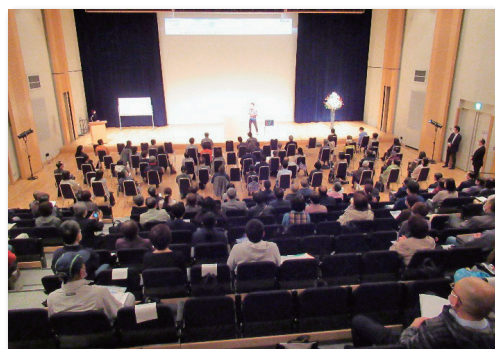
令和3年10月23日(土)、山形テルサにおいて、本県として初めて日本FP協会山形支部との共催により、二部構成で金融経済講演会を開催しました。一部では講師としてピーター・フランクフル氏をお迎えし、『人生を楽しくする方程式』をテーマに、自らの体験を交えながら人間関係を大切にすることが豊かな人生につながることや人生を楽しくするポイントなどを話されました。

140名を超える方々に参加いただき、「生き方の参考になった」「大変良かった」等の感想が寄せられました。

また、日本FP協会山形支部による講演会や無料個別相談会も同時に開催しました。



(講師 ピーター・フランクフル氏)



(山形テルサ講演状況)

COLUMN

人生 100 年時代に備えて

2019年の金融リテラシー調査からみると、山形県民は、金融リテラシーに関する正誤問題の正答率が高く、全般的に堅実な傾向にあるように窺えます。その中で、「老後の生活費について資金計画を立てている人の割合」が全国最下位であったことは気になりました。

本年から年金制度の見直しが予定されています。この4月からは、受給開始時期の選択肢が拡大され、受給開始の上限年齢が75歳(現在70歳)に引き上げられます。在職老齢年金制度も見直され、働きながら年金を受け取る際の基準(減額基準)が緩和されます。つまり、年金の受け取り方や働き方によって、年金の受給額に一層差が出てくることになります。

年金制度に関する報道や情報がでていますが、より充実した老後の生活を送るためにも、正しい情報や知識をもとにご自身で判断して頂く必要があります。人生100年時代と言われます。それぞれの老後のライフスタイルとともに、老後の資金計画を考える方が少しでも増えるよう、当委員会としても情報を提供してまいります。

知るぽると は、金融広報委員会の愛称です。

知るぽるとの「ぽると」とは、「港」「入口」の意味。金融の情報が集まる「港」として、金融知識の身近な「入り口」として、さまざまな活動を展開しています。

知るぽると
山形県金融広報委員会

くらしに役立つ金融情報の普及活動

広く県民の皆様に
分かりやすく伝えます

金融広報アドバイザー派遣事業（講座）

団体・グループ等から派遣依頼を受けて金融広報アドバイザーを講師として派遣しています。
金融広報アドバイザーは、『くらしに役立つ金融情報を、中立・公正な立場から広めていこう』という目的・社会的意義に賛同して活動しています。
令和3年は、31回の講師派遣を行いました。



（シニア向け）



（落語による金融講座）



（一般向け）

知るぽると生活講座

広く県民の方々に金融全般について学ぶ機会を提供しようと各市町村と共催により講座を開催しています。令和3年は、山形市と東根市で開催しました。参加された多くの方から好評を得て毎年開催しております。



（山形市）



（東根市）

消費者力アップ講座

県消費生活センター、酒田市社会文化課と共催で酒田市総合文化センターにおいて「かしこい消費生活講座」を4回、県立図書館において親子参加型の「はじめてのおこづかいちょう」講座を開催し、親子でお金の使い方について考えてもらいました。



（酒田市総合文化センター）



（山形県立図書館）

～金融経済知識普及のための取り組み～

山形財務事務所

山形財務事務所では、幅広い世代の方を対象に金融経済知識普及のための講座を行っています。子育て世代には教育に係る費用や資産形成の話、シニア世代には金融犯罪被害防止のための対策、学生には社会に出る前に知っておきたい金融知識など、参加者のニーズに応じた内容になるよう工夫を凝らしています。また、講座に併せて日本の財政の現状について知ってもらうためのお話しもしています。



（子育て世代向け講座）



（金融犯罪被害防止のための講座）

金融・金銭教育の推進活動

山形県金融広報委員会では、お金に関する幅広い学習を通じて、子どもたちの「生きる力」を育む金融・金銭教育を推進するため、小学校・中学校・高等学校を対象として、「金融・金銭教育研究校」を委嘱しています。令和3年度は、下記の2校が金融教育研究校として研究活動に取り組んでいます。

学 校 名	委 嘱 期 間
山形県立遊佐高等学校	令和2年度～令和4年度
学校法人新庄学園 新庄東高等学校	令和3年度～令和4年度

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で「日本銀行仙台支店の見学と講話」は中止となりましたが、金融広報アドバイザーにより金融機関や金融の仕組みについて体験を交えた実践的な講義を実施しました。



(学校法人新庄学園 新庄東高等学校)



(山形県立遊佐高等学校)

金融・金銭教育研究校募集中！

当委員会では金融・金銭教育に取り組む学校へ支援を行うために、「金融・金銭教育研究校」の委嘱校の募集をしています。

委嘱期間は2年間で、①教育研究費の助成、②金融広報アドバイザーの無料派遣、③金融教育に関する資料の提供などを支援します。

金融・金銭研究校に興味をお持ちの学校、先生は事務局へお問い合わせください。詳しい説明をさせていただきます。



COLUMN

成年年齢引下げと金融知識

皆さん、令和4年4月に、成年年齢が引き下げられるのをご存知ですか？
20歳から18歳に引き下げられるので、令和4年4月1日からは、18歳、19歳の人、成人として一人で有効な契約を結ぶことができるようになります。その影響はとても大きいため、トラブルの未然防止に向け、18歳までに契約の知恵を身につけることがとても重要です。契約に関して、皆さんを守ってくれる法律があることや、もしもトラブルにあった場合の相談窓口（消費者ホットライン：電話番号「188(いやや!)」）などの詳しい情報について、「知るぽると」（金融広報中央委員会）のホームページで「18歳までに学ぶ 契約の知恵」(<https://www.shiruporuto.jp/public/document/container/seinen/>)を紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



金融広報アドバイザーを派遣しています

各地域、サークル、公民館、PTA、学校などで開催される金融や経済に関する講演会、勉強会、研修会などへ講師として「金融広報アドバイザー」を無料で派遣しています。

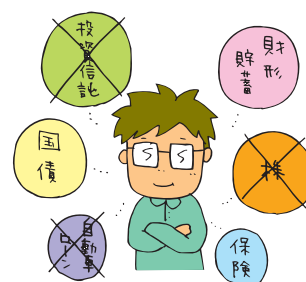
当委員会の金融広報アドバイザーは、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士等のほか、金融経済、金融教育等の分野で豊富な専門知識と経験を有する方々にご協力いただいております。

テーマ等でお悩みの際には、企画の段階からご相談に応じますので、お気軽にご利用ください。



講座テーマの事例

- 上手なお金の使い方 ～おこづかいについて考えよう～
- 社会に出る前に知っておきたい「契約」と「お金」の基礎知識
- ライフプランとお金の話
- これからはじめる老後資金の準備
- キャッシュレス社会の過ごし方
- 悪質商法の手口と対策
- 人生にかかるお金、資産形成の視点



講師派遣の手順につきましては、ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

eラーニング講座

「マネビタ～人生を豊かにするお金の知恵」を開講しました

「マネビタ」＝「マネー」×「ビタミン」

身体に必要不可欠なビタミンを食物から摂り込むように、人生に必要なお金の知識をこの講座から身につけて頂きたいという願いが込められています。講座は6テーマ16講義で1回の講義は10～15分程度でスマホでの視聴もでき、誰でも無料で受講できます。



講座の6テーマ

- 金融と経済を学ぶ
- ライフプランを描く
- お金を借りる
- お金を増やす
- リスクに備える
- トラブルを避ける

「おかしいな…」「困ったな…」
と思ったら……
一人で悩まず、まず相談!

相談してケロ!



局番なしの
いや! 188 ケロ!

いや! 188!
消費者ホットライン

県消費生活センターキャラクター
ケロちゃん

お住いの地域の最寄りの消費生活センターまたは消費生活相談窓口
につながります。

問い合わせ先

山形県金融広報委員会 TEL023-630-3237

〒990-8570

山形市松波二丁目8番1号 山形県消費生活・地域安全課内

FAX 023-625-8186 <https://www3.boj.or.jp/yamagata/yamakinkou.htm>



知るぽると 山形